

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：鉱工業振興費

事業名 モノづくり教育プラザ推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3762)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,370 千円 (前年度予算額： 7,370 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,370	3,670	0	0	0	0	0	0	3,700
要求額	7,370	3,670	0	0	0	0	0	0	3,700
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

航空宇宙産業は、コロナ回復後には再び市場の大きな成長が期待される一方で当該産業を担う優れた人材の不足が懸念されている。

次世代の航空機産業を担う若手技能者の育成・確保を目的として、岐阜工業高校敷地内に、平成28年度に航空機製造（切削、組立等）に係る基本的な技術習得に向けた実習施設モノづくり教育プラザ（1号館）を整備し、平成29年度4月から運用を開始し、平成30年度に航空機部品の設計・加工・検査・航空機構造を学ぶための実習施設モノづくり教育プラザ（2号館）を整備し、平成31年度4月から運用を開始した。

(2) 事業内容

モノづくり教育プラザにおいて、産業界が望む実践型・現場対応型の実習を実施する。なお、航空機製造技術体験研修及び航空宇宙産業CAD・CAM体験研修は、広く県内高校生を対象に実施する。

①航空機製造技術体験研修

【内容】県内の高校生を対象に、航空機製造に必要な知識の習得や、製造に必要な技術の体験研修を実施する。

②航空宇宙産業CAD・CAM体験研修

【内容】県内の高校生を対象に、航空機部品等の設計・製造に必要なCAD・CAMの体験研修を実施する。

③航空機製造工程実習

【内容】航空宇宙産業への就職を希望する岐阜工業高校生を対象に、熟練技能者の指導の下、航空機製造で行われている一連の工程（設計、製造および検査）を学ぶ実践的な実習を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

・「成長・雇用戦略」において、航空宇宙産業の重点的支援を掲げており、県として将来の航空機産業を担う技術者・技能者の育成・確保の取組を推進する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	108	講師謝金
旅費	30	業務旅費
需用費	1,485	実習用材料、受講生用安全具
委託料	5,747	研修委託料
合計	7,370	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2)次世代を見据えた産業の振興（航空宇宙分野）
- ・「成長・雇用戦略」
 - [4] 航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

航空宇宙関連産業への就職を希望する高校生の技術・技能の質的向上を図り、県内航空機製造関連企業が望む人材を輩出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
航空機関連企業 内定者数 (工業高校生) 【単年】	71	32	67	75	90	36%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>航空機部品の製作実習を通じて、航空機製造の一連の行程（設計→切削→組立→検査）を学ぶ機会を提供することで、航空機の製造に係る知識と技術力が向上した。就業直後から即戦力として活躍することが期待される。</p> <p>指標① 目標：90 実績：34 達成率：37.8%</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>航空機部品の製作実習や、動画配信を通じて、航空機製造の一連の行程（設計→切削→組立→検査）を学ぶ機会を提供することで、航空機の製造に係る知識と技術力の向上や、航空機製造への就業意欲の向上につなげた。</p> <p>指標① 目標：60 実績：32 達成率：53.3%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	「成長・雇用戦略」において、航空宇宙産業は成長分野と位置付けられており、同分野の人材の育成・確保は産業界が抱かえる喫緊の課題であるため、持続的に事業実施していく必要がある。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	令和4年度の受講生からは「航空機産業に興味を持てた」「進路の選択においてよい経験になった」等の意見が多く、知識・技術の向上や就業意欲の喚起を図る点で効果が得られている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	本事業は、県内高校生を対象に、航空機製造やCAD・CAMによる設計・加工体験の機会を提供しており、就職前にモノづくりの理解度を図る点で効率的かつ効果的な内容となっている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 航空宇宙産業の人材育成・確保は喫緊の課題であり、産業界のニーズに合致した即戦力人材が輩出できる施策を引き続き講じる必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 産業界、高校関係者のニーズを踏まえ、令和4年度から航空機製造体験研修の対象を非工業系高校生に広げて実施。岐阜工業高校は引き続き航空宇宙産業教育の中核拠点校として、県内企業、高校関係者等と連携し人材育成教育プログラムの充実と施設の効果的な活用を検討する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】